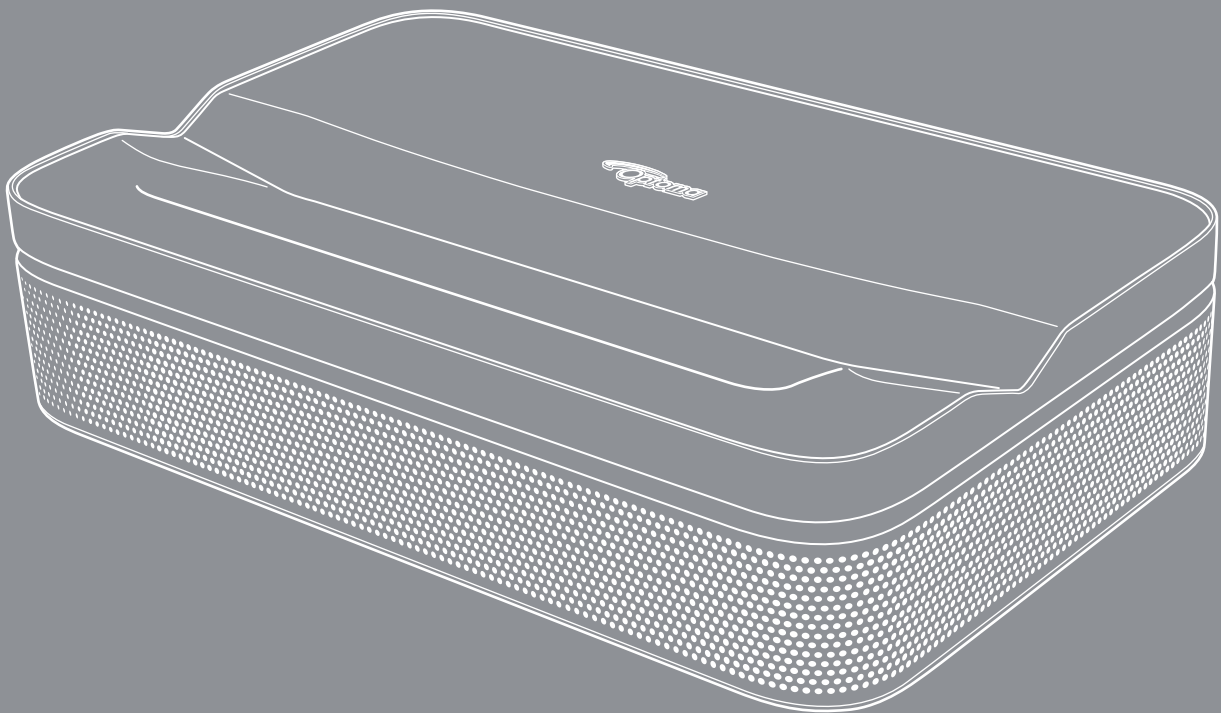


トリプルレーザー超短焦点 ホームシアタープロジェクター ユーザーマニュアル



免責条項

- Google TV は、このデバイスのソフトウェアエクスペリエンスの名称であり、Google LLC の商標です。
- Google、YouTube、Google Cast、YouTube Music およびその他のマークは、Google LLC の商標です。
- Dolby Laboratories からのライセンス下で製造されています。Dolby、Dolby Audio、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。
- ここに含まれるすべてのブランドは、それぞれの所有者の商標です。



目次

安全	4
安全に関するご注意.....	4
レーザー放射安全情報.....	5
著作権.....	7
免責条項.....	7
FCC.....	7
EU 諸国への適合宣言.....	8
RED 諸国への適合宣言	8
WEEE.....	8
UKCA.....	8
RF 周波数範囲.....	9
RF EIRP	9
WLAN 機能制限.....	9
レンズの清掃.....	10
はじめに	11
パッケージの内容.....	11
製品の各部名称	12
接続.....	13
リモコン	14
設定と設置	15
プロジェクターを設置する	15
ソースをプロジェクターに接続する.....	18
プロジェクターを使用する	21
配置	21
プロジェクターを充電する	22
電源オン.....	22
スタンバイモード/電源オフ.....	24
リモコンの Bluetooth ペアリング.....	24
ネットワーク設定	25
フォーカス設定.....	26
画像補正設定.....	27
Bluetooth スピーカーモード.....	28
Google アシスタント.....	29
Google Cast™ による画面ミラーリング	30
ホーム画面の概要.....	31
ショートカット設定.....	31

設定メニュー	32
OSD メニューツリー	33
入力メニュー	39
プロジェクターメニュー	40
表示とサウンドメニュー	42
ネットワーク & インターネットメニュー	44
プライバシーメニュー	45
アプリメニュー	47
システムメニュー	48
アクセシビリティメニュー	50
リモコンとアクセサリメニュー	51
ヘルプとフィードバックメニュー	51

追加情報 52

互換性のあるソリューション	52
画像サイズと投影距離	54
プロジェクターの寸法と天井取り付け	55
IR リモコンコード	56
トラブルシューティング	58
警告インジケーター	60
仕様	61
Optoma 社グローバルオフィス	62

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒートレーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 0°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
 - (iii) 保管および輸送時の周囲温度: -10°C ~ 50°C
 - (iv) 標高 5000m 以下 (気圧 80kPa 以上)
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたサービススタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。

- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- **注意事項**
間違ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険性があります。
 - 間違ったタイプのバッテリーに交換すると、安全装置が無効になる可能性があります。
 - バッテリーを火中や高熱のオープンへ投棄したり、バッテリーを機械的に破壊または切断すると、爆発の危険があります。
 - バッテリーを周囲温度が非常に高い環境に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
 - バッテリーを極めて低い気圧に曝すと、爆発または可燃性の液体または気体の漏れを引き起こす可能性があります。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、おおよびまたは、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レーザー放射安全情報

- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- このプロジェクターにはクラスモジュールが組み込まれています。分解または改造は非常に危険ですので、絶対に試みないでください。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に物 (拡大鏡など) を近づけないようにしてください。レンズから投射される光路は広範囲にわたります。したがって、レンズからの光の向きを変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射にさらされて危害を及ぼす可能性があるため、プロジェクターを開けたり分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。

- 制御、調整、または操作手順に従わないと、レーザー放射にさらされて損傷が発生する可能性があります。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2025

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

RED 諸国への適合宣言

Optoma 社は、本製品の無線機器型式が指令 2014/53/EU (英国: 無線機器規制 2017 (S.I. 2017/1206)) に準拠していることをここに宣言します。EU 適合宣言の全文は、ご要望に応じて入手できます。

EU 適合宣言の全文については、当社の Web サイトをご覧ください。

WEEE

廃棄物についての指示



この製品には、廃電気電子機器 (WEEE) の分別シンボルが付いています。つまり、この製品は、環境への影響を最小限に抑えるためにリサイクルまたは解体するために、欧州指令 2012/19/EU に従って取り扱われる必要があります。

ユーザーは、新しい電気機器または電子機器を購入する際に、その製品を適切なリサイクル組織に引き渡すか、小売業者に引き渡すかを選択できます。

UKCA

UK
CA

英国無線機器規制 (SI 2017/1206)、英国電気機器 (安全) 規制 (SI 2016/1101)、英国電磁両立性規制 (SI 2016/1091) の範囲内で、製品に適用されるすべての技術規制を満たしています。

RF 周波数範囲

Bluetooth: 2402MHz ～ 2480MHz

2.4GHz Wi-Fi: 2412MHz ～ 2472MHz

5GHz Wi-Fi: 5150MHz ～ 5250MHz、5250MHz ～ 5350MHz、5470MHz ～ 5725MHz、5725MHz ～ 5850MHz

RF EIRP

Bluetooth: EIRP <20dBm

2.4GHz Wi-Fi: EIRP <20dBm

5GHz Wi-Fi:

- 5150 ～ 5250MHz: EIRP <23dBm
- 5250 ～ 5350MHz: EIRP <20dBm
- 5470 ～ 5725MHz: EIRP <20dBm
- 5725 ～ 5850MHz: EIRP <13.98dBm

WLAN 機能制限

このデバイスは、身体から少なくとも 20cm 離れた場所に設置した場合、関連する RF 放射線曝露制限に準拠しています。

使用制限: このデバイスの WLAN 機能は、次の国では 5150 ～ 5350 MHz の周波数範囲で動作する場合、屋内での使用のみに制限されます:

このデバイスは、無線スペクトルの使用に関する適用要件に違反することなく、すべての加盟国で操作できます。

	AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DK	DE	EE	EL	ES	FI
	FR	HR	HU	IE	IS	IT	LI	LT	LU	LV	MT	NL
	NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR	UK(NI)			

	UK

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



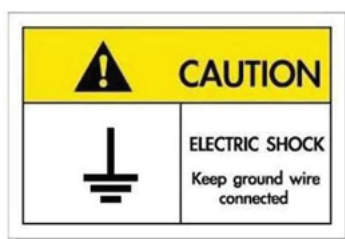
警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。



警告: お子様の目線より上に設置してください。お子様の目線の上に設置する場合、この製品と共に天井マウントを使用することをお勧めします。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

はじめに

Optoma レーザープロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。機能の完全なリストについては、当社の Web サイトの製品ページにアクセスしてください。ここでは、FAQ の追加情報やドキュメントも掲載されています。

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下記に記載されている標準付属品がすべて揃っていることを確認してください。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ



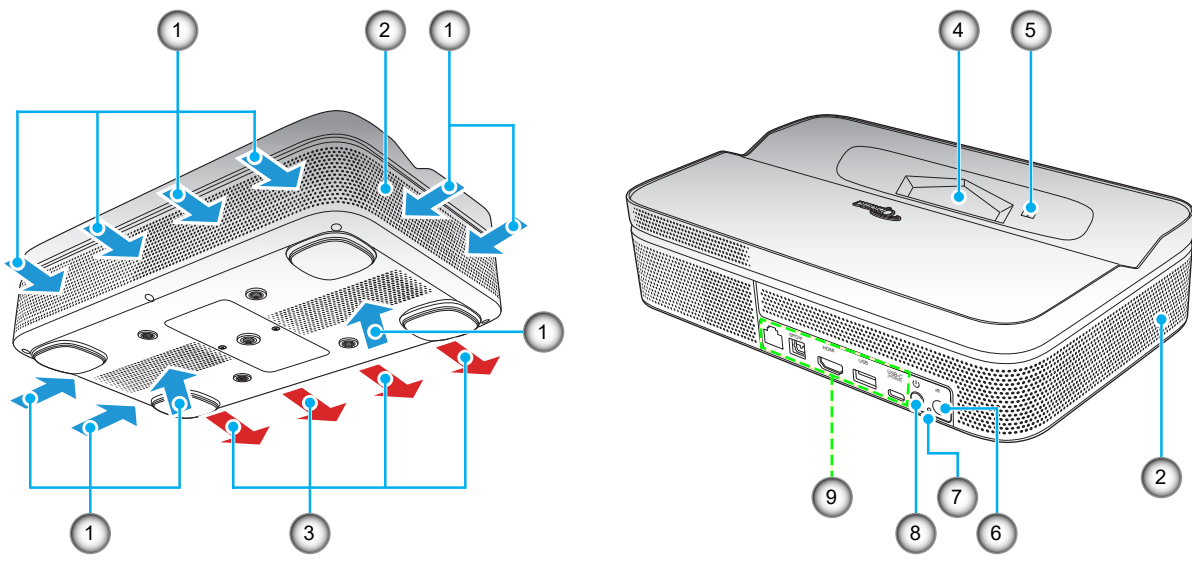
注:

- 設定情報、ユーザーマニュアル、保証情報、製品の更新にアクセスするには、QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください。
<https://www.optoma.com/support/download>
- 電源ケーブルとオプションのアクセサリは国によって異なる場合があります。



はじめに

製品の各部名称

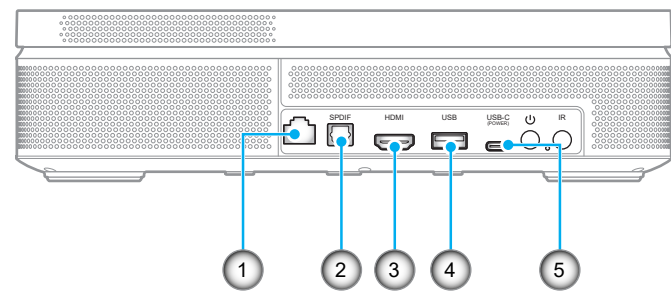


- 注:**
- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
 - プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 15 cm 隙間をあけてください。

番号	項目	番号	項目
1.	換気 (吸気口)	6.	IR レシーバー
2.	スピーカー	7.	電源 LED
3.	換気 (排気口)	8.	電源ボタン
4.	レンズ	9.	入/出力
5.	TOF モジュール		

はじめに

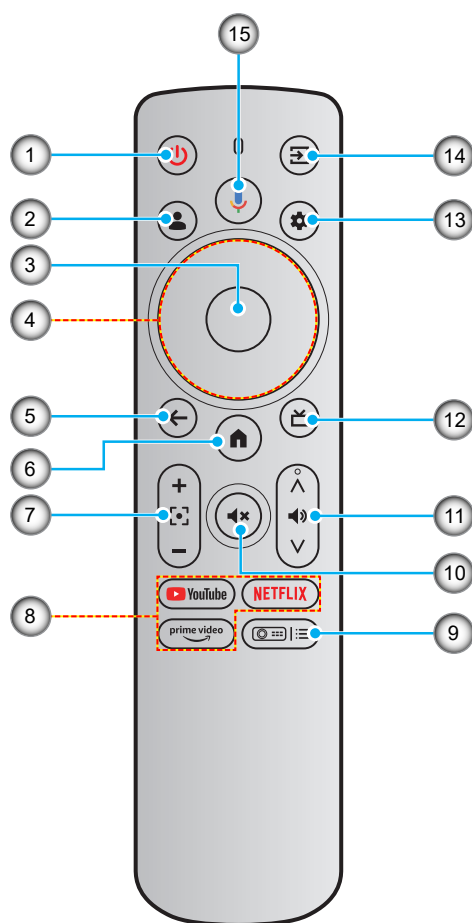
接続



番号	項目	番号	項目
1.	RJ-45 端子	4.	USB Type-A 電源出力 (5V/1A) (マルチメディアペンドライブ、FW アップグレード用。)
2.	SPDIF 入力端子	5.	USB Type-C 端子 (電源入力用)
3.	HDMI 2.0 端子		

はじめに

リモコン



番号	項目
1.	電源
2.	ユーザープロフィール
3.	OK
4.	4 方向選択キー
5.	戻る
6.	ホーム
7.	フォーカス
8.	ストリーミングアプリ

番号	項目
9.	プロジェクター設定 (ショートカット)
10.	ミュート
11.	音量
12.	Live TV*
13.	設定 (ダッシュボード)
14.	入力ソース
15.	Google アシスタント

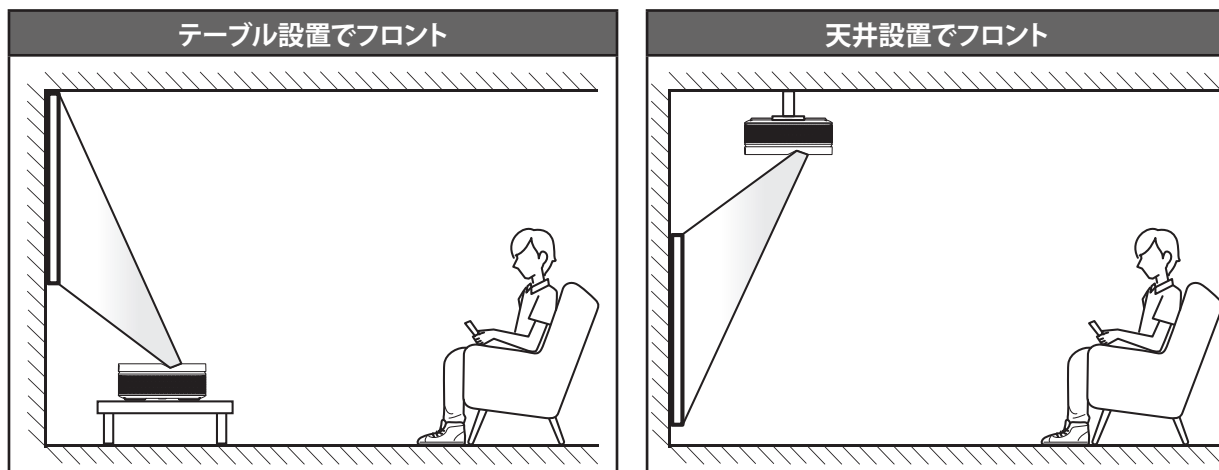
注: リモコンは、赤外線 (IR) および Bluetooth 伝送をサポートします。

* 米国のみ。Live TV が利用できない地域では、このキーが他の入力ソースに誘導される場合があります。

設定と設置

プロジェクターを設置する

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

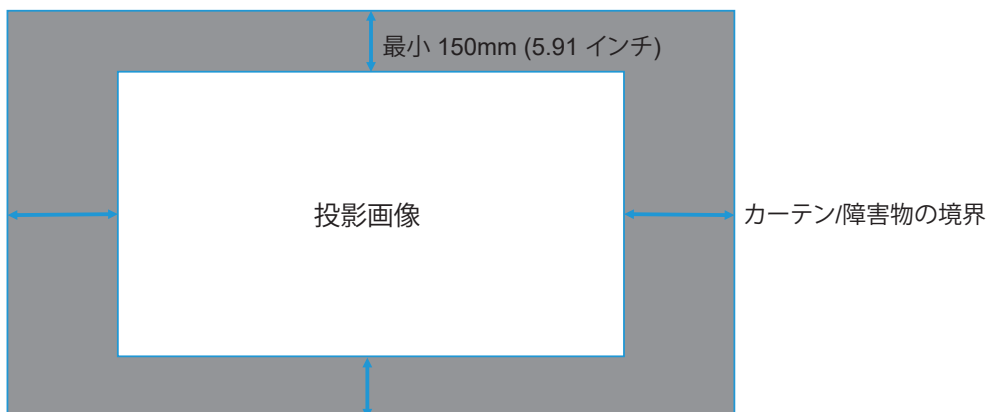
- 特定のスクリーンサイズに対するプロジェクターの位置を決定するには、54 ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対するスクリーンサイズを決定するには、54 ページの距離表を参照してください。

注: プロジェクターをスクリーンまたは投影面から離して配置すると、画像のサイズとオフセットが比例して増加します。

設定と設置

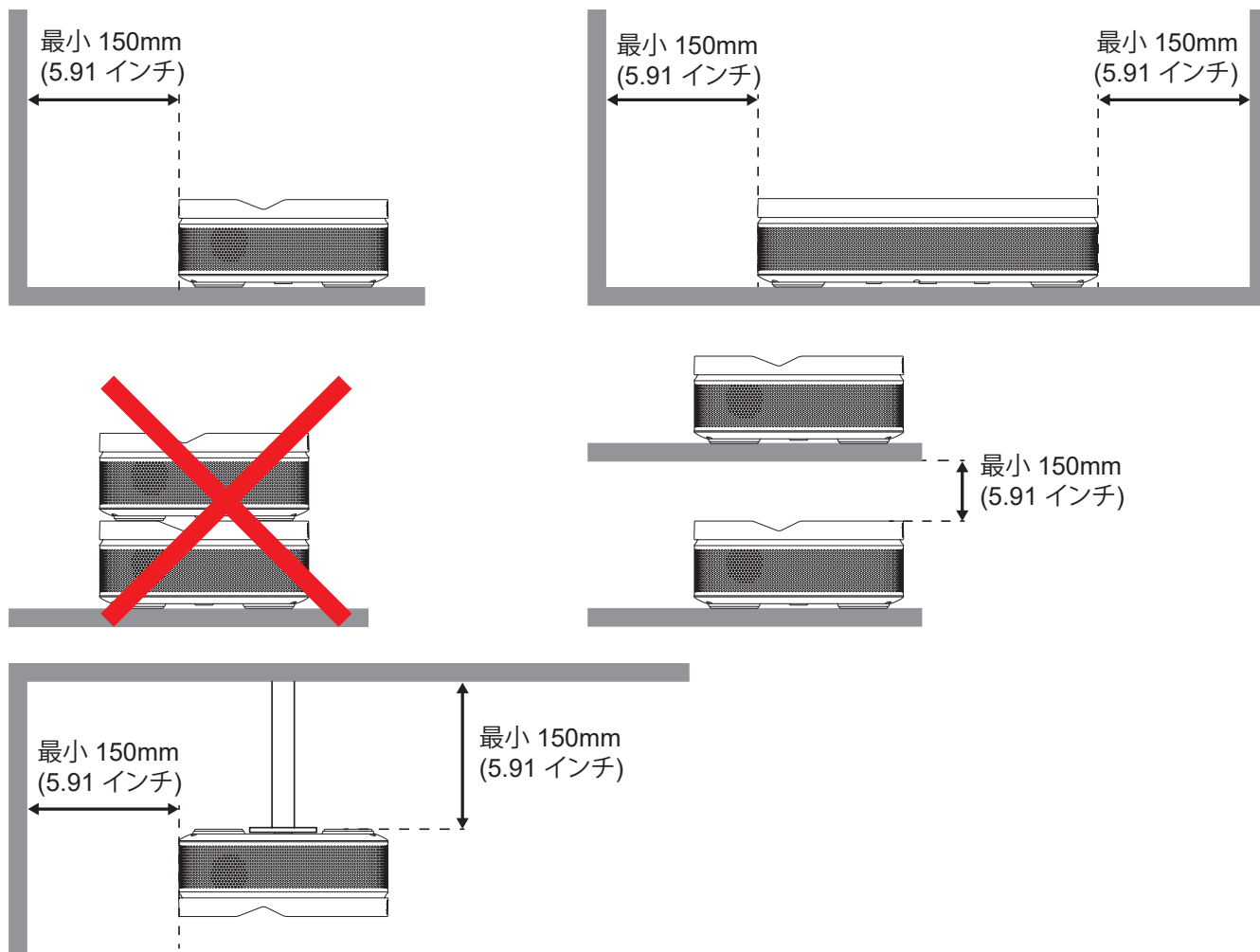
注:

- プロジェクターが次の仕様に従って配置されていることを確認してください:
 - a. 投影面が平らで地面に対して垂直であること。
 - b. キーストーン補正角度が、
水平 $\pm 10^\circ$ 、垂直 $\pm 5^\circ$ 、ロール $\pm 10^\circ$ の特定の範囲内であることを確認します。
 - c. プロジェクターとスクリーンとの距離が離れると、投影される画像がそれだけ大きくなり、
垂直オフセットも比例して大きくなります。
 - d. 投影された画像は、カーテンの境界や障害物から少なくとも 15 cm 離してください。



設定と設置

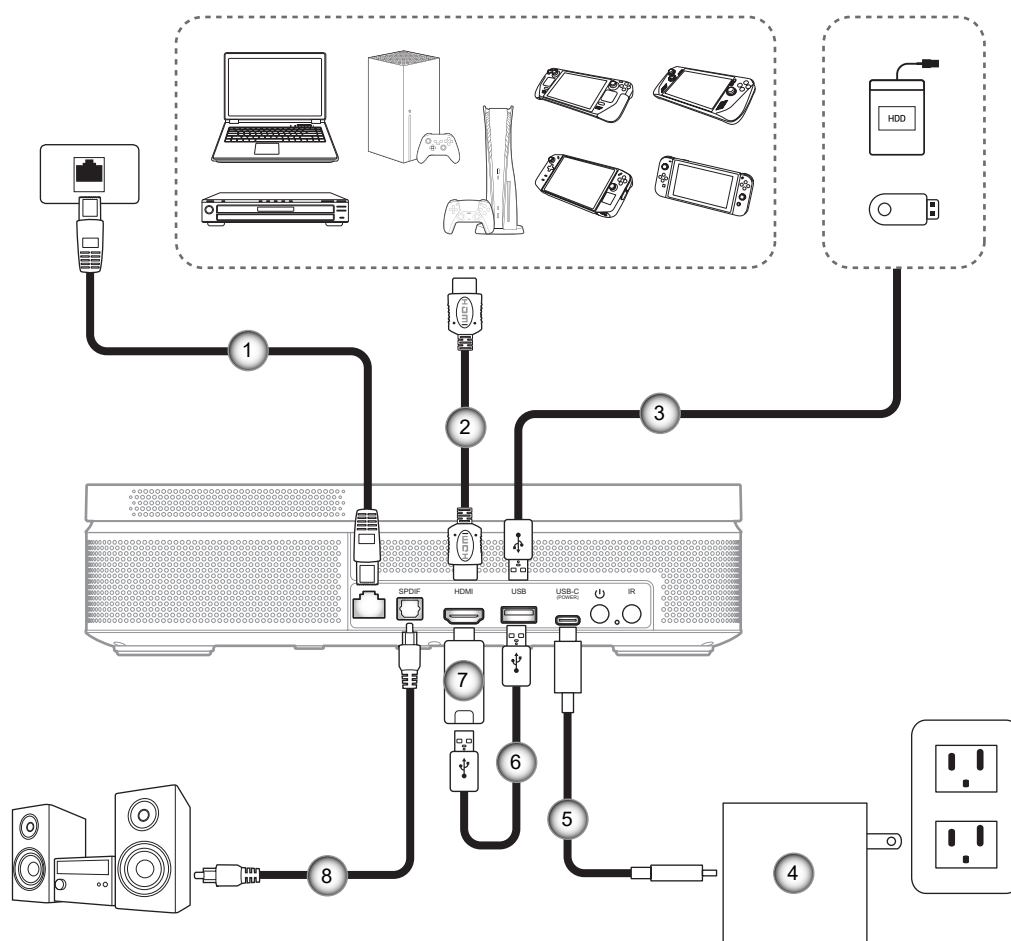
- 排気口の周囲に少なくとも 15 cm のスペースを確保してください。



- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、プロジェクターが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるため、プロジェクターが排気を取り込まないよう、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	RJ-45 ケーブル
2.	HDMI ケーブル
3.	USB ケーブル
4.	電源アダプター

番号	項目
5.	USB Type-C ケーブル
6.	USB 電源ケーブル
7.	HDMI ドングル
8.	S/PDIF 出力ケーブル

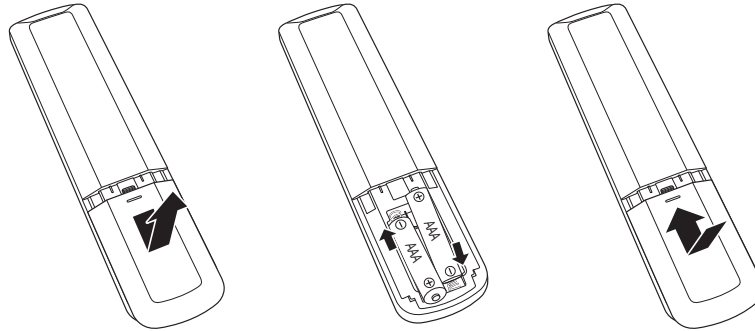
注: 最高の画質を確保し、接続エラーを回避するために、HDMI 2.0 認証を取得した「超高速 HDMI ケーブル」を最大 5 メートルまで使用することをお勧めします。

設定と設置

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項: 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

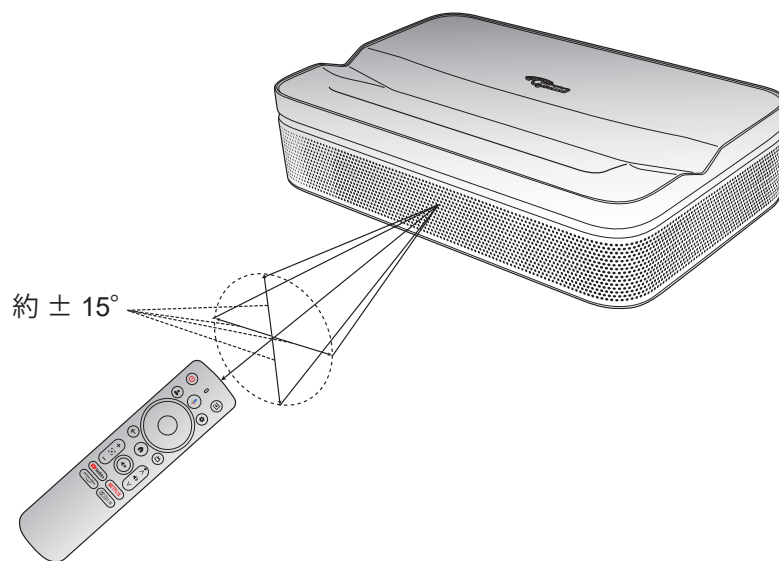
- 間違ったタイプのバッテリーに交換すると、安全装置が無効になる可能性があります (単 4 サイズのバッテリータイプに交換します)。
- バッテリーを火や高温のオープンに廃棄したり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発が起こる可能性があります。
- バッテリーを周囲温度が非常に高い環境に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
- バッテリーを極めて低い気圧に曝すと、爆発または可燃性の液体または気体の漏れを引き起こす可能性があります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。バッテリーから漏れた化学物質が皮膚に接触すると、かぶれを引き起こす可能性があります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- リモコンを長期間使用しない場合は、化学物質の漏れの危険を減らすために電池を取り外してください。

設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの前面と背面にあります。リモコンが正しく機能するように、プロジェクターの IR リモコン センサーに対して 15 度の角度でリモコンが保持されていることを確認してください。リモコンとセンサーの間の距離は 6 メートル (19.7 フィート) 以内にする必要があります。

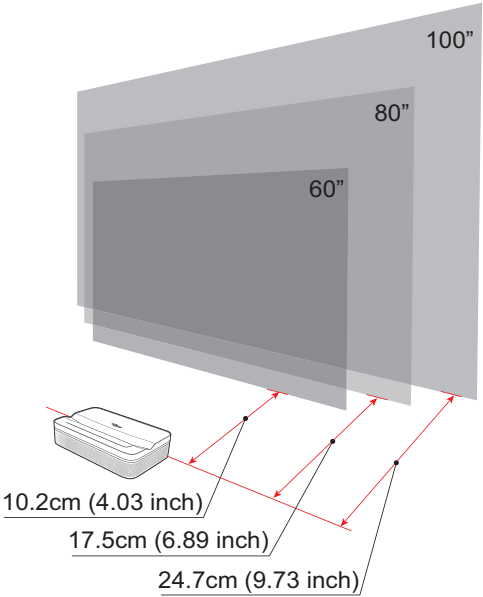
- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 m 以上離してご使用ください。誤動作の原因となります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が非常に近い場合、リモコンが動作しないことがあります。



プロジェクターを使用する

配置

プロジェクターを投影面の前の安定した平らな面に置きます。平らで白い投影面を使用することをお勧めします。プロジェクターと投影面との距離と、それに応じた投影サイズを決定するには、以下の表を参照してください。



サイズ	60 インチ	80 インチ	100 インチ
スクリーン (長さ x 幅)	133 x 75 cm (4.36 x 2.46 フィート)	177 x 100 cm (5.8 x 3.28 フィート)	21 x 124 cm (7.25 x 4.06 フィート)

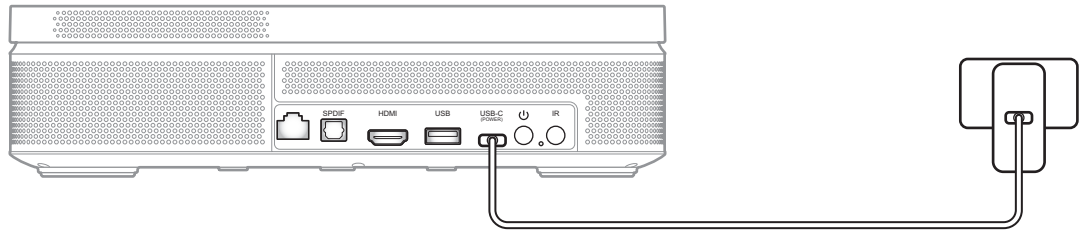
注: 推奨される最適な投影サイズは 80 インチです。

プロジェクターを使用する

プロジェクターを充電する

このプロジェクターには内蔵バッテリーが付属しています。プロジェクターを初めて使用する前に、必ずバッテリーを100%まで完全に充電してください。

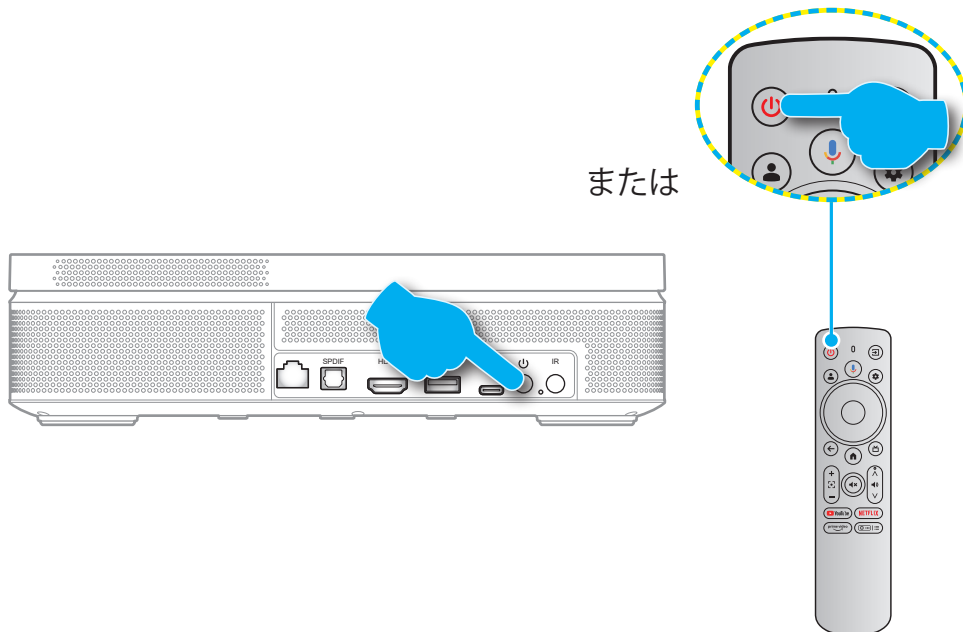
1. USB Type-C ケーブルの一方の端を電源アダプターに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの USB Type-C コネクタに接続します。
2. 電源アダプターを電源コンセントに差し込みます。電源 LED が点灯 (赤) し、バッテリーが充電中であることを示します。



電源 LED が緑に変わると、バッテリーが完全に充電されたことを示します。

電源オン

プロジェクターの  ボタンまたはリモコンの  ボタンを押して、プロジェクターの電源をオンにします。



約 10 秒後に起動画面が表示されます。

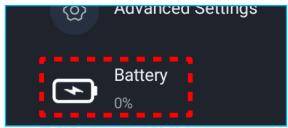
注:

- プロジェクターを初めてオンにすると、優先言語の選択、Bluetooth 経由でのリモコンのペアリング、その他の設定を行うように求められます。
- リモコンには IR 経由の機能もありますが、完全な機能を使用するには Bluetooth ペアリングが必要です。



プロジェクターを使用する

- 現在のバッテリーの状態を確認するには、リモコンの  を押して、[バッテリー] オプションを確認します。



バッテリーアイコン	バッテリーステータス
	バッテリーレベル (0% ~ 19%)
	バッテリーレベル (20 ~ 39%)
	バッテリーレベル (40 ~ 59%)
	バッテリーレベル (60 ~ 79%)
	バッテリーレベル (80 ~ 99%)
	バッテリーレベル (100%)
	充電中 (0% ~ 100%)
	フル充電 (100%)

プロジェクターを使用する

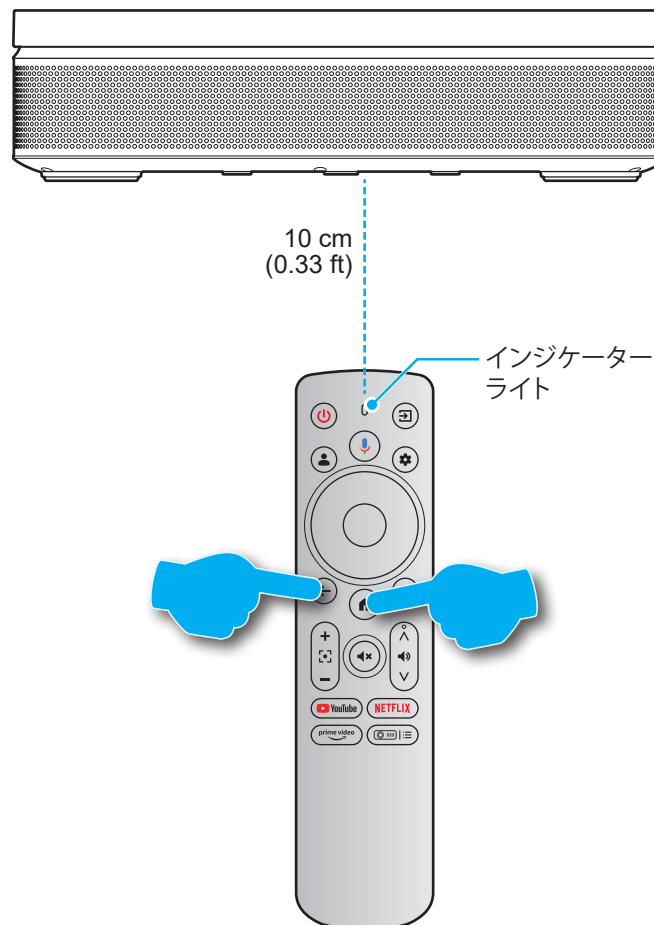
スタンバイモード/電源オフ

- プロジェクターの  ボタンまたはリモコンの  ボタンを押して、スタンバイモードに入ります。
- プロジェクターの  ボタンまたはリモコンの  ボタンを 3 秒間押し続けると、プロジェクターの電源がオフになります。

リモコンの Bluetooth ペアリング

プロジェクターを初めて使用するときは、画面の指示に従って、リモコンを Bluetooth 経由でプロジェクターとペアリングします。

1. 画面に Bluetooth ペアリングのプロンプトが表示されるまで待ちます。次に、リモコンをプロジェクターから 10 cm (0.33 フィート) 以内に近づけます。
2. インジケーターライトが点滅し始めるまで、リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に押し続けます。次に両方のボタンを放します。



3. 画面にペアリング成功のメッセージが表示されたら、リモコンのペアリングが正常に完了したことを示します。

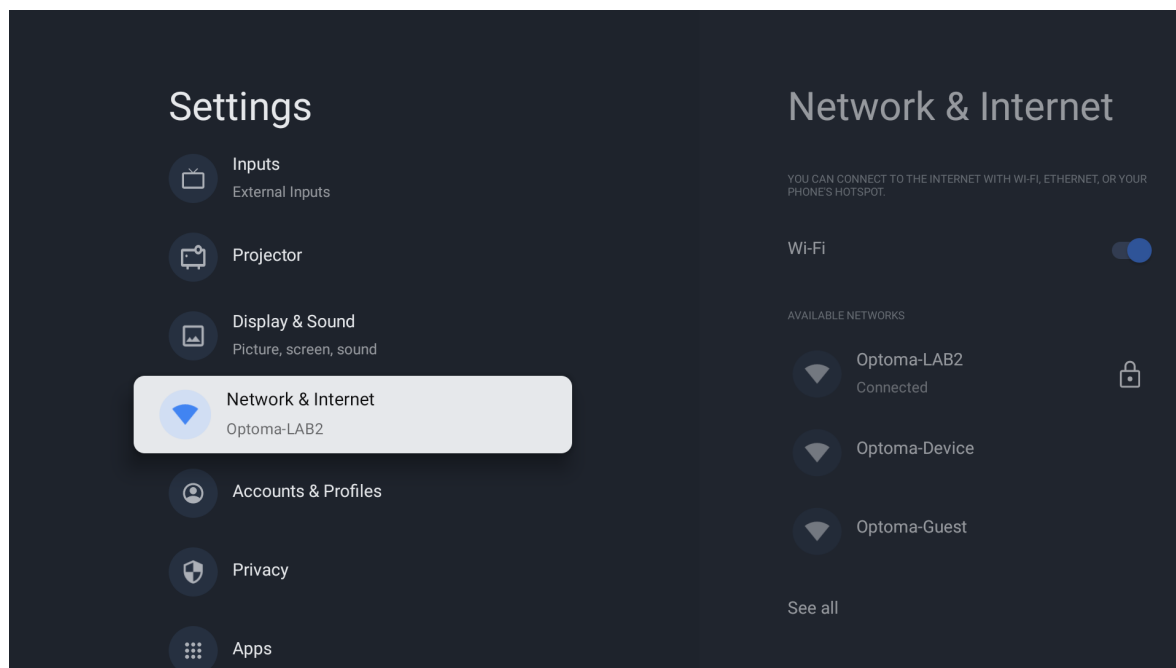
注:

- ペアリングが成功しなかった場合は、リモコンのインジケーターライトの点滅が止まるまで上記の手順を繰り返します。
- リモコンの音声検索機能は、リモコンが Bluetooth によってプロジェクターとペアリングされた後にのみ使用できます。

プロジェクターを使用する

ネットワーク設定

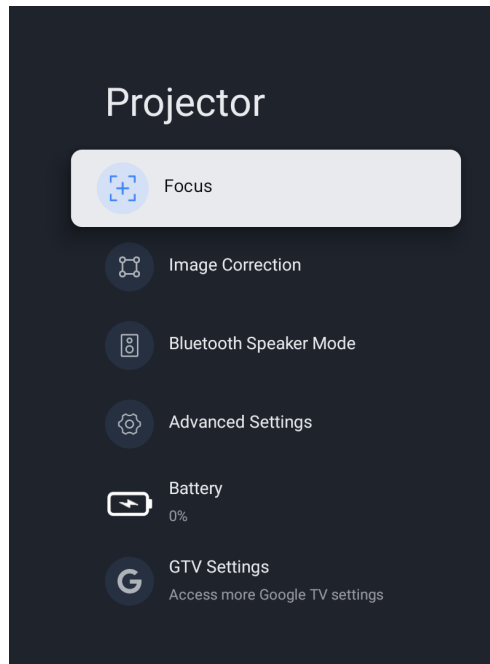
1. リモコンの  ボタンを押します。次に [すべての設定 > [ネットワークとインターネット] を選択します。
2. Wi-Fi 機能をオンにします。
3. 接続するネットワークを選択します。次に正しいパスワードを入力します。
注: 可能な限り 5GHz Wi-Fi ネットワークに接続することを強くお勧めします。



プロジェクターを使用する

フォーカス設定

リモコンの  ボタンを押します。次に **[フォーカス]** を選択し、フォーカス調整タイプを選択します。

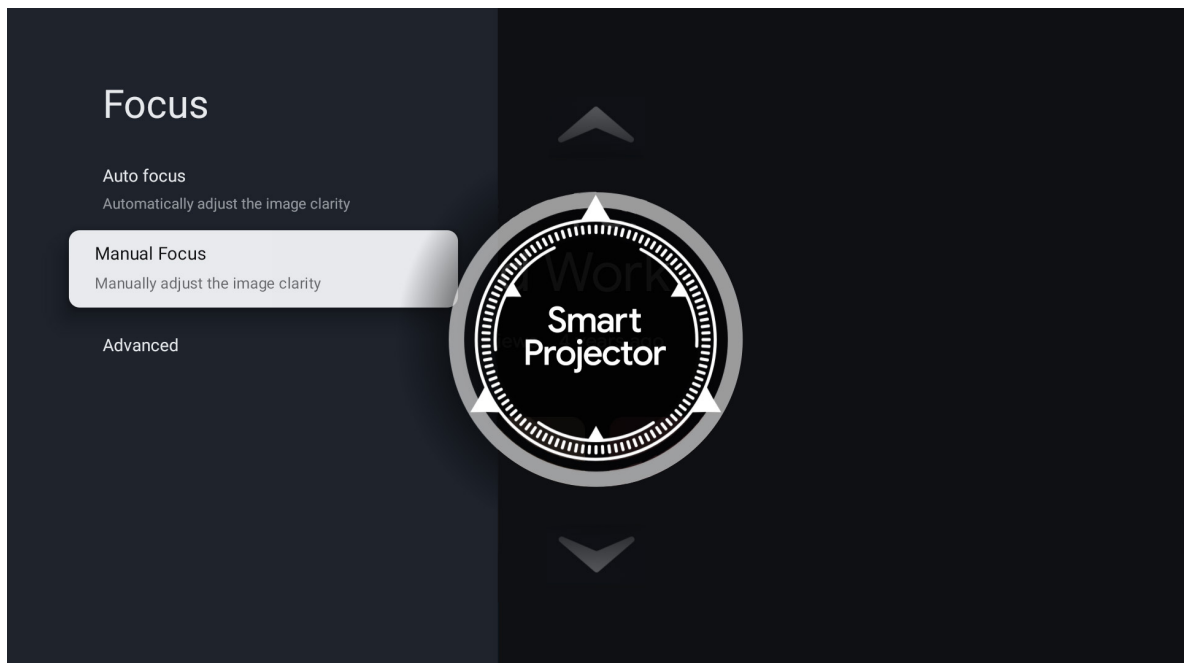


自動フォーカス

[自動フォーカス] を選択すると、自動フォーカス機能が起動します。プロジェクターは自動的にフォーカスを調整します。

手動フォーカス

[手動フォーカス] を選択し、リモコンの  ボタンを使用して、画像が鮮明になるまでフォーカスを調整します。



プロジェクターを使用する

画像補正設定

キーストーン補正

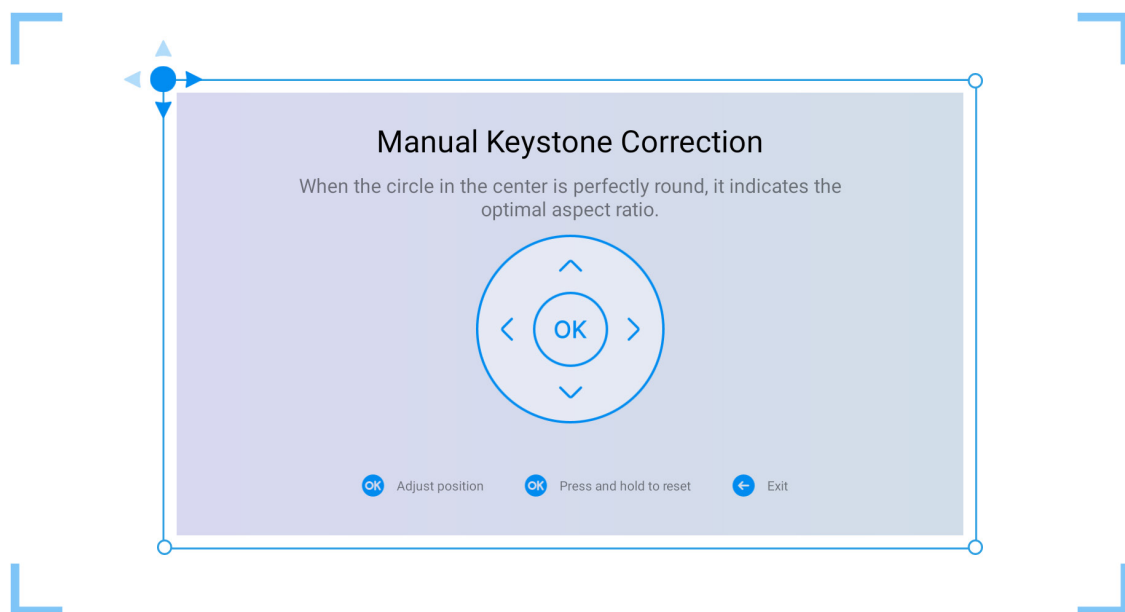
リモコンの  ボタンを押します。次に **[画像補正]** を選択し、キーストーン補正タイプを選択します。

自動キーストーン補正

[自動キーストーン補正] を選択すると、自動キーストーン補正機能が起動します。画面は自動的に修正されます。

手動キーストーン補正

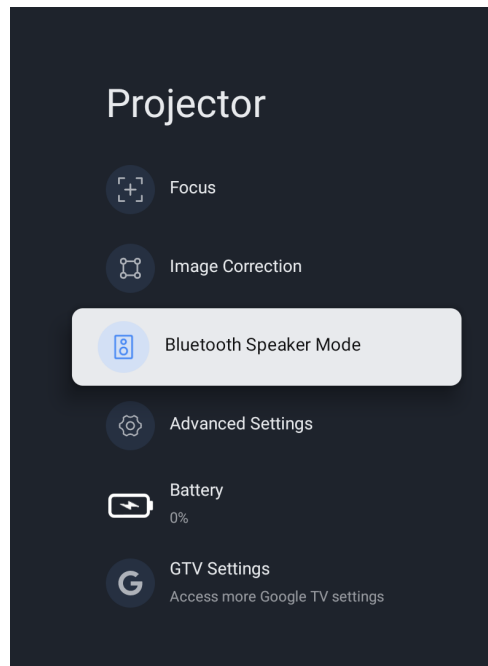
[手動キーストーン補正] を選択し、▲/▼/◀/▶ ボタンを使用して 4 つのポイントと画像の形状を調整します。



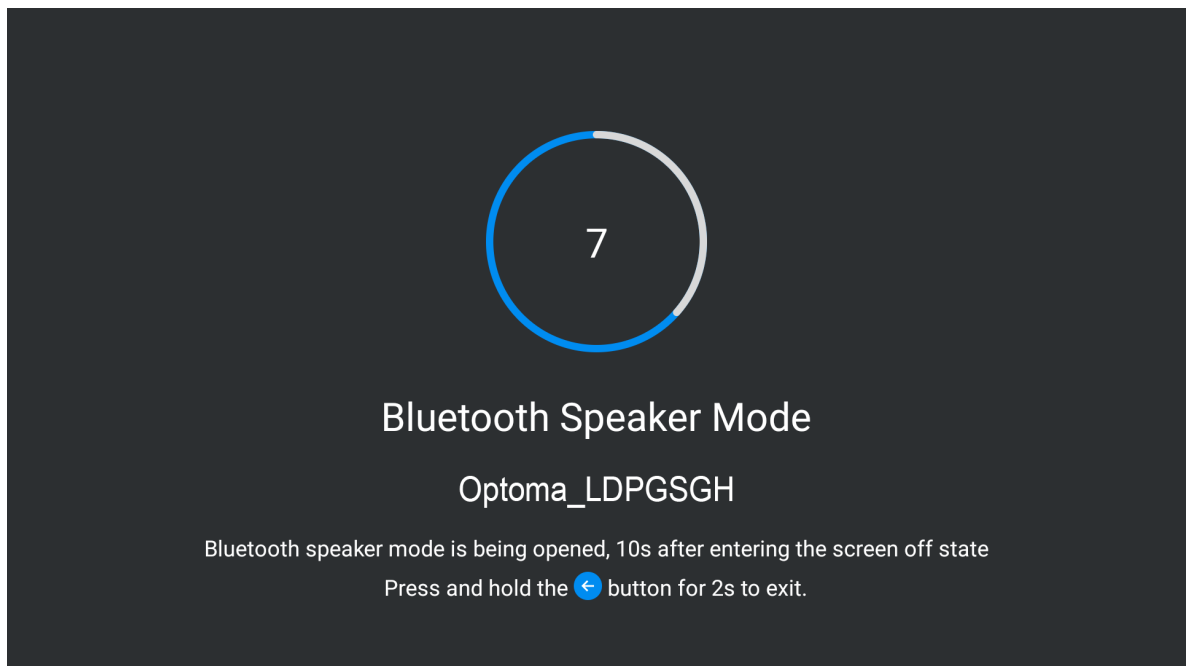
プロジェクターを使用する

Bluetooth スピーカーモード

1. リモコンの  ボタンを押します。次に、[Bluetooth スピーカーモード] を選択します。

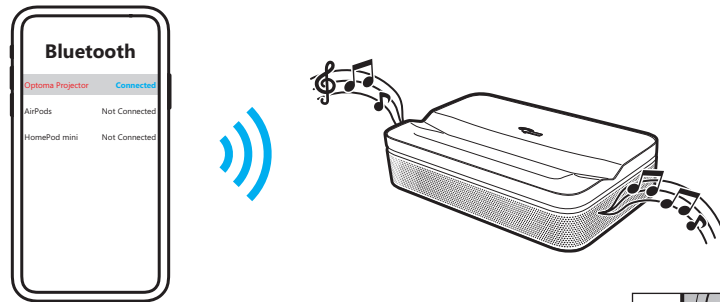


2. Bluetooth 機能を使用して、モバイルデバイスとプロジェクターをペアリングします。

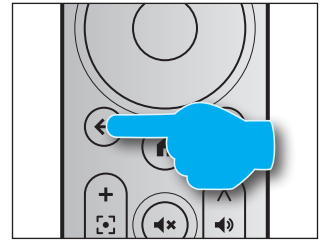


プロジェクターを使用する

3. 「Bluetooth 接続に成功しました」というメッセージが聞こえたら、プロジェクターで携帯電話から音楽を再生できるようになります。



注: Bluetooth 接続を切断するには、リモコンの ⏮ キーを 2 秒間押し続けます。



Google アシスタント

Google アシスタント機能を使用すると、音声コマンドを使用して映画、ストリーミングアプリを検索したり、音楽を再生したり、プロジェクターを制御したりすることができます。Google アシスタントに、特定のタイトルを検索したり、ジャンルで検索したり、パーソナライズされたおすすめを入手したりするように依頼します。画面上で回答を得たり、スマートホームデバイスを制御したりすることもできます。

リモコンの 🗣️ ボタンを押して開始します。



プロジェクターを使用する

Google Cast™ による画面ミラーリング

Google Cast による画面ミラーリング

Google Cast を使用すると、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンのお気に入りのアプリからプロジェクターにエンターテインメントをストリーミングできます。

4. デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続します。
5. デバイスで Google Cast 対応アプリを開きます。
6. キャストするコンテンツを選択し、キャストアイコン (📶) をタップします。
7. [Optoma_LDPGSGH] を選択して接続します。プロジェクターにデバイスからのビデオが表示されます。

注: 著作権の制限により、特定のコンテンツはプロジェクターにキャストできません。アプリ タブから同じアプリケーションをインストールすることで、プロジェクターでコンテンツをストリーミングできます。

プロジェクターを使用する

ホーム画面の概要

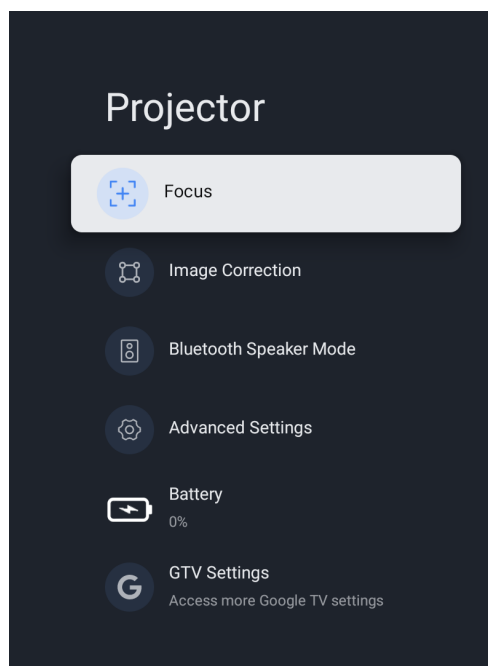
ホーム画面をナビゲートするには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの  ボタンを押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



ショートカット設定

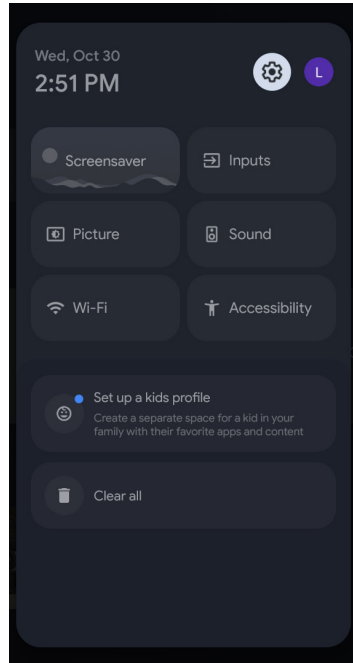
ショートカット設定にアクセスするには、リモコンの  を押します。



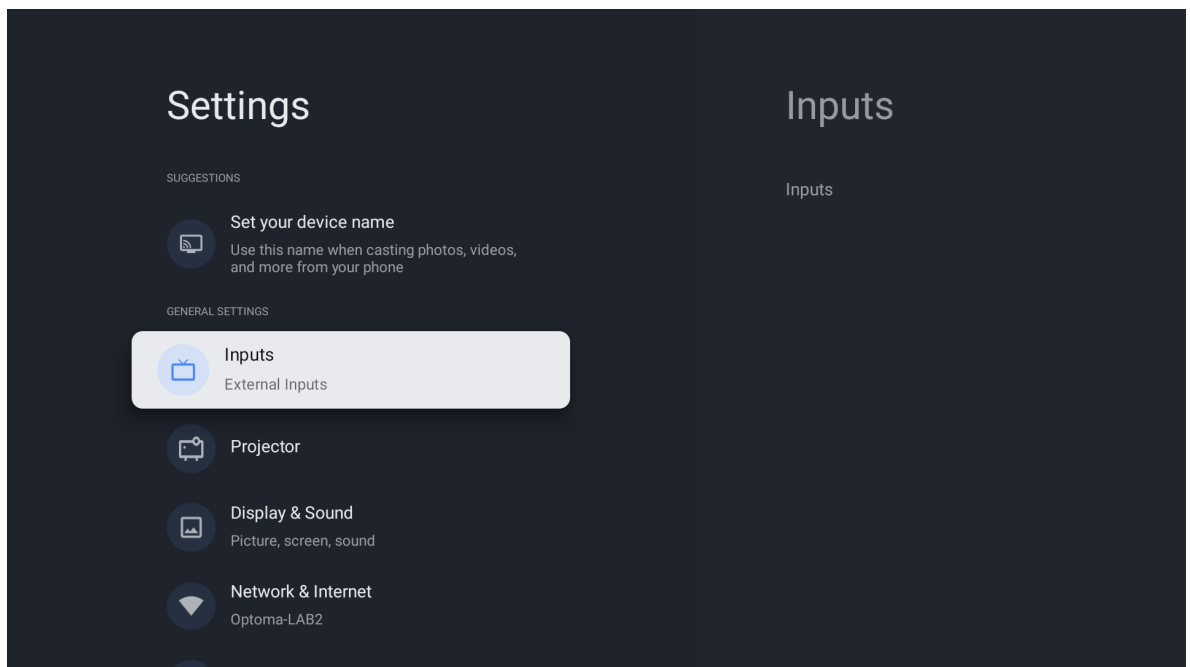
プロジェクターを使用する

設定メニュー

1. リモコンの  ボタンを押します。ダッシュボードが画面に表示されます。



2.  を選択して **OK** ボタンを押すと、**[すべての設定]** メニューに入ります。



注: リモコンの  を押してこのメニューにアクセスすることもできます。次に **[すべての設定]** を選択します。

3.  ボタンを押してメニューオプションを選択します。次に、**OK** 次に、「OK」ボタンを押してオプションリストまたは対応するサブメニューに入ります。
4.  ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

注:  ボタンを押すと設定メニューが閉じてホーム画面に戻ります。

プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

注: OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルおよび地域によって異なります。Optoma は、製品の性能を向上させるため、事前通知なしに追加または削除する権利を有します。

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4
入力	入力	HDMI	この入力を表示	
			HDMI1	
			ブルーレイ	
			ケーブル	
			DVD	
			ゲーム機	
			補助	
			カスタム名	
		HDMI制御	オン/オフ	
		デバイスの自動電源オフ	オン/オフ	
		テレビの自動電源オン	オン/オフ	
プロジェクター	フォーカス	HDMI EDID バージョン	EDID 1.4/ EDID 2.0/ 自動 EDID	
		CEC デバイスリスト		
		自動フォーカス		
		手動フォーカス		
	画像補正	詳細	起動時のオートフォーカス 移動時の自動フォーカス	オン/オフ オン/オフ
		自動台形補正		
		手動台形補正		
		ズーム・移動	ズーム 位置調整	
		形状補正初期化		
		詳細	起動時の自動台形補正 移動時の自動台形補正	オン/オフ オン/オフ
	Bluetoothスピーカーモード			
	詳細設定	プロジェクションモード	フロント フロント・上下反転 リア リア・上下反転	
			リモコン電池残量 リモコンバージョン	
		リモコン		
	バッテリー			
ディスプレイと音	画像	輝度	自動 明 標準 明亮	
		標準		
		鮮明		
		映画 ナチュラル		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4
ディスプレイと音	画像	カスタム	コントラスト	0 ~ 100
			彩度	0 ~ 100
			シャープネス	0 ~ 20
			色ゲイン	赤ゲイン
				緑ゲイン
				青ゲイン
			ガンマ	中
				暗
				明
	画面	ゲームモード	オン/オフ	
		デフォルトに戻す		
		全螢幕		
		未縮放		
		4:3		
		寛版電影 (14:9)		
	音	寛版電影 (16:9)		
		標準		
		映画		
		音楽		
		スポーツ		
		カスタム	バランス	
			低音	
			高音	
		サラウンド音声	オン/オフ	
		システムサウンド	オン/オフ	
		上級者向け設定	音量の自動調整	
	オーディオ出力	デジタル出力	自動	
			バイパス	
			PCM	
			ドルビーデジタルプラス	
			ドルビーデジタル	
		音声遅延制御	0 ~ 250	
ネットワークとインターネット	Wi-Fi	オン/オフ		
	すべて表示			
	新しいネットワークを追加			
	データセーバー	オン/オフ		
	データ使用量と通知	データ使用量		
		日付アラート	100MB ごと / 500MB ごと / 1GB ごと / オフ	
	常にスキャン	オン/オフ		
	有線LAN		未接続/ 接続済み	
	プロキシ設定	使用しない		
		手動		

プロジェクトターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4
ネットワークとインターネット	IP設定	DHCP		
		静的		
	復帰の設定	WoW	オン/オフ	
		WoL	オン/オフ	
		WoC	オン/オフ	
アカウントとログイン				
プライバシー	位置	位置ステータス	Wi-Fi を使用して位置を推定する/オフ	
			オフ	
		常にスキャン	オン/オフ	
	使用方法と診断	オン/オフ		
	広告			
	Google アシスタント	音声操作	オン/オフ	
		権限の表示		
		アカウントに基づく情報	オン/オフ	
		検索対象のアプリ		
		セーフサーチ	オン/オフ	
	支払いと購入	購入認証	はい、PIN を使用します/ はい、パスワードを使用します / なし	
	アプリの許可	連絡先		
		電話		
		カメラ		
		ファイルとメディア		
		その他の許可		
	特殊アプリへのアクセス	エネルギーの最適化		
		使用状況へのアクセス		
		通知へのアクセス		
		すべてのファイルへのアクセス		
		他のアプリに重ねて表示		
		システム設定の変更		
		画面をオンにする		
	セキュリティと制限	不明なソース		
アプリ	查看所有應用程式			
	アプリの許可	連絡先		
		電話		
		カメラ		
		ファイルとメディア		
		その他の許可		
	特殊アプリへのアクセス	エネルギーの最適化		
		使用状況へのアクセス		
		通知へのアクセス		
		すべてのファイルへのアクセス		
		他のアプリに重ねて表示		
		システム設定の変更		
		画面をオンにする		
	セキュリティと制限	不明なソース		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4
システム	デバイス情報	システムアップデート		
		デバイス名		
		リセット	出荷時設定にリセット	
		ステータス	IP アドレス	
			デバイスの MAC アドレス	
			Bluetooth アドレス	
			シリアル番号	
			稼働時間	
		法的情報	オープンソースライセンス	
			Google 法務	
			システム WebView ライセンス	
			消費者情報	
		モデル		
		Android TV の OS バージョン		
		Android TV の OS セキュリティ パッチレベル		
		カーネルバージョン		
		Android TV の OS ビルド		
		Netflix ESN		
		ソフトウェアバージョン		
	日付と時刻	日付と時刻の自動設定	ネットワークから提供された時刻を使用する	
			オフ	
		日付の設定		
		時刻の設定		
		タイムゾーンの設定		
	言語	リスト	24時間表示の使用	オン/オフ
	キーボード	線在のキーボード		
		Gboardの設定	現在のバージョン	
			言語	
			利用規約	
			プライバシーポリシー	
			オープンソースライセンス	
			使用統計情報の共有	オン/オフ
		キーボードの管理		
	ストレージ	内部共有ストレージ		
		ストレージを解放する		
	背景モード	今すぐ開始		
		Google フォト		
		アートギャラリー		
		試験運用		
		天気と気温	非表示 / °C / °F / 両方	
		時間	非表示/表示	
		個人の写真データ	非表示 / 表示	
		Google フォトの縦向きの写真	非表示 / 表示 / ペアの表示	
		個人的な写真の整理	すべてのアルバム/ライブアルバムのみ	
		スライドショーの速度	5 秒/10 秒/30 秒/1 分/3 分/5 分/10 分	

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4
システム	電源とエネルギー	電源オン時の画面	Google TV のホーム画面	
			前回使用した入力の画	
		電源とエネルギー	非アクティブ時にテレビを自動的にオフにする	15 分
				20 分
				30 分
				1時間
				4時間
				8時間
				12時間
				24時間
				なし
		電源	スリープタイマー	オフ
				10分
				20分
				30分
				40分
				50分
				60分
				90分
				120分
			画像 OFF	
			スイッチ OFF タイマー	オフ
				30分
				60分
				90分
				120分
				150分
				180分
				210分
				240分
			自動スリープ	なし
				4時間
				6時間
				8時間
		タイマー	電源ONのスケジュール	オフ
				オン
				一度
			自動的に電源をONにする時刻	
			電源をOFFにする時刻の種類	オフ
				オン
			自動的に電源をOFFにする時刻	
			一度	
	キャスト	常時 / キャスト中 / なし		
	システムサウンド	オン/オフ		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4
システム	再起動	再起動		
		キャンセル		
	トークバック	有効化	オン/オフ	
ユーザー補助	トークバック	構成		
		Google の音声サービス		
	テキスト読み上げ	エンジン構成		
		発話速度		
		例を聞く		
		デフォルトの言語ステータス		
	アクセシビリティショートカット	アクセシビリティショートカットを有効にする	オン/オフ	
		ショットカットサービス	トークバック/スイッチアクセス	
	スイッチアクセス	有効化	オン/オフ	
		構成		
	キャプション	表示	オン/オフ	
		言語		
		テキストのサイズ	非常に小さい	
			小	
			中	
			大	
			非常に大きい	
		キャプションスタイル		
		黒地に白		
		白地に黒		
		黒地に黄		
		青地に黄		
		カスタム	フォントファミリー	
			テキストの色	
			テキストの不透明度	
			エッジタイプ	
			エッジカラー	
			背景の表示	
			背景色	
			背景の不透明度	
			ウィンドウの表示	
			ウィンドウの色	
			ウィンドウの不透明度	
	高コントラストテキスト	オン/オフ		
リモコンとアクセサリ	アクセサリのペア設定	アクセサリを検索中		
ヘルプとフィードバック	提供意見			

プロジェクターを使用する

入力メニュー

入力

入力ソースを関連設定に構成します。

HDMI

HDMI ポートに接続されている HDMI デバイスの種類を指定します。

HDMI制御

この機能を有効にすると、プロジェクターが HDMI デバイスを制御できるようになります。

デバイスの自動電源オフ

この機能を有効にすると、プロジェクターの電源がオフになったときに HDMI デバイスの電源もオフになります。

テレビの自動電源オン

この機能を有効にすると、プロジェクターの電源がオンになったときに HDMI デバイスの電源もオンになります。

HDMI EDID バージョン

HDMI EDID バージョンを選択します。

CEC デバイスリスト

CEC デバイスリストを表示します。

プロジェクターを使用する

プロジェクターメニュー

フォーカス

調整を行う前に、プロジェクターが次の仕様に配置されていることを確認してください:

- a. プロジェクターが地面と平行な平らな面に設置されていること。
- b. 投影面が平らで地面に対して垂直であること。

自動フォーカス

画像の鮮明さを自動的に調整します。詳細については、26 ページを参照してください。

手動フォーカス

画像の鮮明さを手動で調整します。詳細については、26 ページを参照してください。

詳細

高度なフォーカス調整設定を構成します。

- **起動時のオートフォーカス:** この機能を有効にすると、プロジェクターの電源投入時にフォーカスが自動的に調整されます。
- **移動時の自動フォーカス:** この機能を有効にすると、プロジェクターを移動したときにフォーカスが自動的に調整されます。

画像補正

自動台形補正

キーストーン補正を自動的に実行します。詳細については、27 ページを参照してください。

注:

- 水平および垂直キーストーンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。
- 投影面が平らであることを確認してください。

手動台形補正

プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる画像のゆがみを手動で調整します。詳細については、27 ページを参照してください。

ズーム・移動

ズームと画像シフトに関する設定を構成します。

- **ズーム:** 投影スクリーン上の画像を縮小または拡大します。
- **位置調整:** 投影画像の位置を調整します。

形状補正初期化

画像補正設定を工場出荷時の設定に戻します。

詳細

高度な自動キーストーン補正設定を構成します。

- **起動時の自動台形補正:** この機能を有効にすると、プロジェクターの電源投入時に自動的にキーストーン補正が実行されます。
- **移動時の自動台形補正:** この機能を有効にすると、プロジェクターを移動したときに自動的にキーストーン補正が実行されます。

プロジェクターを使用する

Bluetoothスピーカーモード

Bluetooth 機能を使用してモバイルデバイスとプロジェクターをペアリングし、Bluetooth スピーカーモードを構成します。詳細については、28 ページを参照してください。

詳細設定

投影モードを構成し、リモコン情報を表示します。

- **プロジェクションモード:** 希望する投影モードを選択します。詳細については、15 ページを参照してください。
- **リモコン:** リモコンのバッテリーレベルとバージョンを表示します。

バッテリー

プロジェクターのバッテリーレベルを表示します。

プロジェクターを使用する

表示とサウンドメニュー

画像

輝度

周囲の明るさに応じて明るさモードを設定します。

ピクチャモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- ・ **標準**: 明るさと色再現のバランスを最適化するには、このモードを選択します。
- ・ **鮮明**: 色を強調する場合はこのモードを選択します。
- ・ **映画**: ホームシアターの場合、このモードを選択します。
- ・ **ナチュラル**: 自然な色合いを実現するには、このモードを選択します。
- ・ **カスタム**: コントラスト、彩度、シャープネス、色ゲイン、ガンマ などのピクチャ設定を手動で構成します。

ゲームモード

この機能を有効にすると、明るさと応答時間のレベルが上がり、ビデオゲームを楽しむことができます。

デフォルトに戻す

ピクチャ設定を工場出荷時の設定に戻します。

画面

表示される画像のアスペクト比を選択します。

- ・ **全螢幕**: この形式は、アスペクト比に関係なく、画面全体に表示されます。
- ・ **未縮放**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- ・ **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- ・ ☒ **版電影 (14:9)**: この形式は、ワイド スクリーン TV 用に拡張された HDTV や DVD などのムービー拡張 14:9 入力ソース用です。
- ・ ☒ **版電影 (16:9)**: この形式は、映画拡大 16:9 入力ソース用です。

注: このメニュー オプションは、HDMI 入力ソースでのみ使用できます。

スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p
4x3	1440 x 1080 に調整します。			
14x9	1680 x 1080 に調整します。			
16x9	1920 x 1080 に調整します。			
21x9	該当なし			
32x9	該当なし			
垂直ストレッチ	該当なし			
全画面表示	該当なし			
自動	ソースが 4:3 の場合、1440 x 1080 に自動的にサイズ変更されます			

プロジェクターを使用する

自動マッピングルール:

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1080
4:3	800	600	1440	1080
	1024	768	1440	1080
	1280	1024	1440	1080
	1400	1050	1440	1080
	1600	1200	1440	1080
ワイドノート PC	1280	720	1920	1080
	1280	768	1800	1080
	1280	800	1728	1080
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

音

音

適切なサウンドモードを選択します。

- **標準:** 音楽を再生する場合はこのモードを選択します。
- **映画:** 映画再生を視聴する場合はこのモードを選択します。
- **音楽:** 通常の音楽再生にはこのモードを選択します。
- **スポーツ:** スポーツイベントを視聴する場合はこのモードを選択します。
- **カスタム:** バランス、低音、高音などのオーディオ設定を手動で構成します

サラウンド音声

サラウンドサウンドオーディオを有効にする場合に選択します。

システムサウンド

この機能を有効にすると、システムサウンド通知がオンになります。

上級者向け設定

[自動音量制御] 機能を有効にすると、音量を自動的に制御できます。

オーディオ出力

デジタル出力

オーディオ出力形式を設定します。

音声遅延制御

デジタルオーディオ出力の遅延を調整して、サウンドをビデオと同期させます。

プロジェクターを使用する

ネットワーク & インターネットメニュー

Wi-Fi

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

Wi-Fi

この機能を有効にすると、Wi-Fi がオンになります。

利用可能なネットワーク

希望するワイヤレスアクセスポイントを選択します。[すべて表示] を選択すると、すべてのリストが表示されます。

新しいネットワークを追加

ワイヤレスネットワーク名を手動で入力し、セキュリティモードの種類を選択して、パスワードを入力します。

データセーバー

このオプションを有効にすると、ビデオ品質が自動的に調整され、モバイルデータの使用量が少なくなります。この機能はネットワークトラフィックを監視および制限します。

データ使用量と通知

今日使用されたデータ量を表示します。データアラート通知を設定することもできます。

常にスキャン

このオプションを有効にすると、Wi-Fi がオフの場合でも、Google の位置情報サービスやその他のアプリがネットワークをスキャンできるようになります。

有線LAN

有線ネットワーク設定を構成し、ネットワーク接続ステータスを表示します。

プロキシ設定

プロキシ サーバーの設定を構成します。

IP設定

プロジェクターがネットワークから IP アドレスやその他の接続パラメーターを自動的に取得するようにする場合は、[DHCP] を選択します。それ以外の場合、ネットワーク接続の IP 設定を手動で構成する場合は、[静的] を選択します。

復帰の設定

ワイヤレスネットワーク経由でプロジェクターを起動する (WoW)、LAN 接続経由のネットワーク制御経由でプロジェクターを起動する (WoL)、または Google Cast 経由でプロジェクターを起動する (WoC) ための必要な機能を有効にします。

支払いと購入メニュー

Google アカウントでサインインします。サインインすると、ユーザープロフィールと子供のプロフィールを管理できるようになります。

プロジェクターを使用する

プライバシーメニュー

位置

位置ステータス

システムが Wi-Fi 機能を使用してプロジェクターの位置を推定できるようにするか、無効にします。

常にスキャン

このオプションを有効にすると、Wi-Fi がオフの場合でも、Google の位置情報サービスやその他のアプリがネットワークをスキャンできるようになります。

使用方法と診断

このオプションを有効にすると、デバイス、アプリ、Google Cast からのクラッシュレポートや使用状況データなどの診断情報が Google に自動的に送信されます。これらの許可は、デバイス設定からいつでも調整できます。

広告

広告 ID のリセットなど、広告設定を管理します。

Google アシスタント

音声操作

このオプションを有効にすると、音声を使用して視聴するコンテンツを検索したり、情報を入手したり、デバイスを制御したりすることができます。

権限の表示

この機能を使用して、アクティビティを確認および管理します。

アカウントに基づく情報

この機能を使用すると、共有されている Google アシスタント デバイスの特定の結果を Google アシスタントが読み取ったり表示したりできるようになります。

検索対象のアプリ

検索結果に含めるアプリを選択します。

セーフサーチ

このオプションを有効にすると、セーフサーチフィルターが使用され、Google 検索結果から不適切または露骨な画像がブロックされます。

支払いと購入

モバイルデバイスの Play ストアアプリからアカウントと購入を管理します。Web ブラウザーを使用して設定を構成することもできます (たとえば、支払い方法を設定するには、g.co/ManageWallet にアクセスします)。

購入認証

このオプションを有効にすると、このデバイスで Google Play アカウントを通じて不正な購入が行われるのを防ぐことができます。

アプリの許可

連絡先、電話、カメラ、ファイル、メディアなどのさまざまな機能にアクセスするためのアプリの許可を表示します。

プロジェクターを使用する

特殊アプリへのアクセス

エネルギーの最適化

このオプションを有効にすると、エネルギー使用が最適化されます。

使用状況へのアクセス

このオプションを有効にすると、他のアプリの使用状況とその頻度が追跡されます。

通知へのアクセス

このオプションを有効にすると、連絡先名や受信したテキストメッセージなどの個人情報を含むすべての通知を読めるようになります。

すべてのファイルへのアクセス

このオプションを有効にすると、このデバイスまたは接続されているストレージボリューム内のすべてのファイルを読み取り、変更、削除できるようになります。

他のアプリに重ねて表示

このオプションを有効にすると、使用している他のアプリの上に表示できるようになります。これらのアプリの使用に支障をきたしたり、アプリの動作や外観が変わったりする可能性があります。

システム設定の変更

このオプションを有効にすると、システム設定を変更できるようになります。

画面をオンにする

このオプションを有効にすると、画面をオンにできるようになります。許可された場合、アプリはユーザーの明示的な意図なしにいつでも画面をオンにすることができます。

セキュリティと制限

不明なソース

Play ストア以外のソースからのアプリのインストールを許可します。デバイスと個人データは、不明なソースからのアプリによる攻撃に対してより脆弱になります。

プロジェクターを使用する

アプリメニュー

☒ 看所有應用程式

デバイスにインストールされているすべてのアプリを表示します。

アプリの許可

連絡先、電話、カメラ、ファイル、メディアなどのさまざまな機能にアクセスするためのアプリの許可を表示します。

特殊アプリへのアクセス

アプリの許可とアクセスを構成します。詳細については、[46 ページ](#)を参照してください。

セキュリティと制限

不明なソースからのアプリのインストールを制限します。詳細については、[46 ページ](#)を参照してください。

プロジェクトターを使用する

システムメニュー

デバイス情報

ファームウェアのアップグレードを確認してシステムを更新し、デバイスの表示と名前の変更、工場出荷時設定へのリセット、デバイスのステータスの表示、法的情報の表示、モデル名の表示、Android TV OS 関連情報の表示、ソフトウェアバージョンの表示を行います。

日付と時刻

日付と時刻の自動設定

自動日付と時刻を有効または無効にします。

注: この設定はインターネットに接続している場合にのみ適用されます。

日付の設定

[自動日付および時刻] 設定が無効になっている場合は、日付を手動で設定できます。

時刻の設定

[自動日付および時刻] 設定が無効になっている場合は、時刻を手動で設定できます。

タイムゾーンの設定

タイムゾーンを選択します。

24時間表示の使用

時刻の形式を設定します。

言語

画面の表示言語を選択します。

キーボード

線在のキーボード

現在のキーボードを表示します。

Gboardの設定

Gboard キーボード設定を構成します。

キーボードの管理

利用可能な仮想キーボードを管理します。

ストレージ

内部共有ストレージ

デバイスのストレージを表示および管理します。

ストレージを解放する

キャッシュ (一時ファイル) をクリアするか、不要なアプリをアンインストールして、デバイスのストレージ容量を解放します。

プロジェクターを使用する

背景モード

今すぐ開始

すぐにスクリーンセーバーを起動します。

チャンネル

スクリーンセーバーの写真ソースを選択します。

天気と気温

スクリーンセーバーで天気情報を表示または非表示にします。

時間

スクリーンセーバーで時刻を表示または非表示にします。

個人の写真データ

所有者の名前とアルバム名を表示または非表示にします。

Google フォトの縦向きの写真

Google フォトの縦向き写真を表示または非表示にします。

個人的な写真の整理

アルバムのコンテンツを自動的にキュレートします。

スライドショーの速度

スライドショーの速度を設定します。

電源とエネルギー

電源オン時の画面

プロジェクターの電源を入れたときに起動する画面を選択します。

電源とエネルギー

カウントダウンタイマーの時間を設定します。プロジェクターに信号が送信されていない場合、カウントダウンタイマーが開始されます。カウントダウンが終わると、プロジェクターの電源が自動的に切れます。

電源

スリープタイマー、画像オフ、スイッチ オフ タイマー、自動スリープ設定を構成します。

タイマー

タイマーをスケジュールして、デバイスの電源を自動的にオンまたはオフにします。

キャスト

選択すると、Wi-Fi に接続されているすべての Android デバイスに通知が表示され、外部デバイスからキャストするときに他のユーザーがメディアを制御できるようになります。

システムサウンド

システムサウンドを有効/無効にします。

再起動

プロジェクターを再起動します。

プロジェクターを使用する

アクセシビリティメニュー

トークバック

このオプションを有効にすると、スクリーンリーダーを使用できます。トークバック関連の設定も構成できます。

テキスト読み上げ

テキスト読み上げ関連の設定を構成します。

アクセシビリティショートカット

このオプションを有効にすると、アクセシビリティショートカットを使用できます。

注: アクセス可能な機能を開始するには、リモコンの ◀ ボタンと ▼ ボタンを同時に 3 秒間押し続けます。

スイッチアクセス

このオプションを有効にすると、スイッチ機能をオンにできるようになります。スイッチアクセス関連の設定も構成できます。

キャプション

表示

このオプションを有効にすると、キャプションオンにできるようになります。

言語

字幕の言語を設定します。

テキストのサイズ

字幕のデフォルトのフォントサイズを設定します。

キャプションスタイル

キャプションに関する設定を行います。

高コントラストテキスト

このオプションを有効にすると、高コントラストテキストをオンにできるようになります。

プロジェクターを使用する

リモコンとアクセサリメニュー

アクセサリのペア設定

Bluetooth アクセサリを検索し、プロジェクターとペアリングします。

注: リモコンをプロジェクターとペアリングするには、24 ページを参照してください。

ヘルプとフィードバックメニュー

提供意見

画面上のキーボードを使用して問題を説明し、フィードバックを送信します。それ以外の場合は、リモコンの  ボタンを長押しすると、フィードバックが簡単に送信されます。

注: 詳細については、Google TV ヘルプ (g.co/tv/help) をご覧ください。

追加情報

互換性のあるソリューション

EDID (Digital)

HDMI 1.4 (2K)							
B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	アスペクト比	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	1280x1024	60.0	05:04	1920x1080	60.0
720x400	88.0	39.6	800x600	60.0	04:03		
640x480	60.0	31.5	1024x768	60.0	04:03		
640x480	66.6(67)	34.9	1440x1152	60.0	16:10		
640x480	72.0	37.9					
640x480	75.0	37.5					
800x600	56.0	35.1					
800x600	60.0	37.9					
800x600	72.0	48.1					
800x600	75.0	46.9					
832x624	75.0	46.9					
1024x768	87.0	70.2					
1024x768	60.0	48.4					
1024x768	70.0	56.5					
1024x768	75.0	60.0					
1280x1024	75.0	80.0					
1152x870	75.0	67.6					

HDMI 1.4 (2K)				
B1/ビデオモード		B1/詳細タイミング		オーディオデータ
解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	フォーマット
640x480p 4:3	60.0	720x480p 16:9	60.0	LPCM(IEC 60958 PCM[30、31]
720x480p 16:9	60.0	720x576p 16:9	50.0	AC-3
1280x720p 16:9	60.0	1280x720p 16:9	50.0	Dolby Digital+(E_AC3)
1920x1080i 16:9	60.0			
720(1440)x480i 16:9	60.0			
1920x1080p 16:9	60.0			
720x576p 16:9	50.0			
1280x720p 16:9	50.0			
1920x1080i 16:9	50.0			
720(1440)x576i 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	24.0			
1920x1080p 16:9	30.0			
720x480p 4:3	60.0			
720(1440)x480i 4:3	60.0			
720x576p 4:3	50.00			
720(1440)x576i 4:3	50.00			

追加情報

HDMI 2.0 (4K)							
B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	アスペクト比	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	256x192	123.0	16:09	3840x2160	60.0
720x400	88.0	39.6	256x192	123.0	16:09	3840x2160	24.0
640x480	60.0	31.5	2288x1430	61.0	16:10		
640x480	66.6(67)	34.9	256x192	92.0	16:10		
640x480	72.0	37.9					
640x480	75.0	37.5					
800x600	56.0	35.1					
800x600	60.0	37.9					
800x600	72.0	48.1					
832x624	75.0	46.9					
800x600	75.0	46.9					
1024x768	87.0	70.2					
1024x768	60.0	48.4					
1024x768	70.0	56.5					
1024x768	75.0	60.0					
1280x1024	75.0	80.0					
1152x870	75.0	67.6					

HDMI 2.0 (4K)				
B1/ビデオモード		B1/詳細タイミング		オーディオデータ
解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	フォーマット
1920x1080i 16:9	60.0	720x480p 16:9	60.00	LPCM(IEC 60958 PCM[30, 31])
1280x720p 16:9	50.0			AC-3
720x480p 16:9	50.0			Dolby Digital+(E_AC3)
640x480p 4:3	60.0			
720x576p 16:9	50.0			
1280x720p 16:9	50.0			
1920x1080i 16:9	50.0			
720(1440)x480i 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	60.0			
1920x1080p 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	24.0			
1920x1080p 16:9	30.0			

MAC

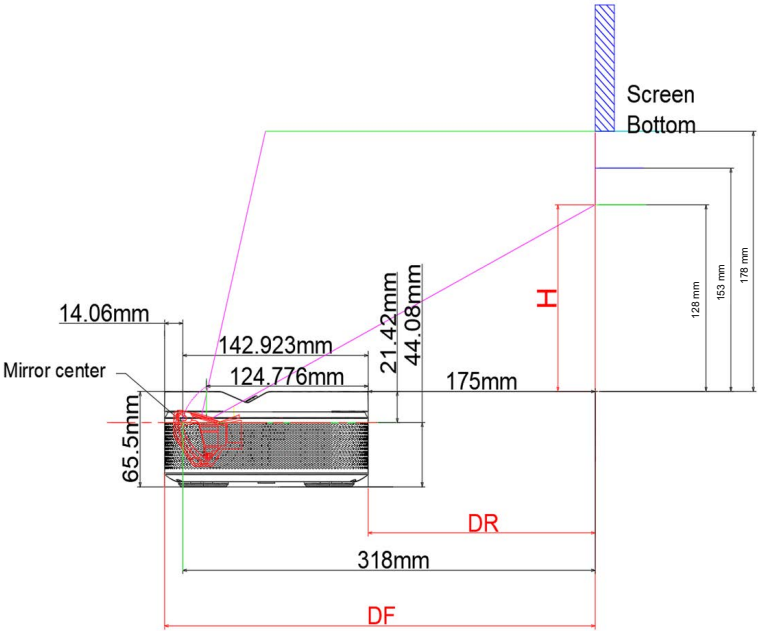
解像度	垂直 [Hz]
640 x 480	60
720x576	50
800 x 600	60
1024 x 768	60/120
1280 x 720p	60/120
1920 x 1080p	24 /25 /30 /50 /60 /120

追加情報

画像サイズと投影距離

画像サイズ	DF 公差: 0		DR		水平 オフセット=130%		水平 オフセット=135%		水平 オフセット=140%	
	インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m
60 インチ	0.259	10.207	0.102	4.027	0.091	3.569	0.109	4.305	0.128	5.040
70 インチ	0.296	11.656	0.139	5.475	0.109	4.305	0.131	5.163	0.153	6.021
80 インチ	0.332	13.073	0.175	6.893	0.128	5.044	0.153	6.025	0.178	7.006
90 インチ	0.369	14.530	0.212	8.349	0.147	5.784	0.175	6.888	0.203	7.993
100 インチ	0.404	15.908	0.247	9.727	0.166	6.522	0.197	7.750	0.228	8.977

注: すべてのプロジェクターには公差があります。最も正確な値が必要な場合は、デバイスを直接測定してください。



追加情報

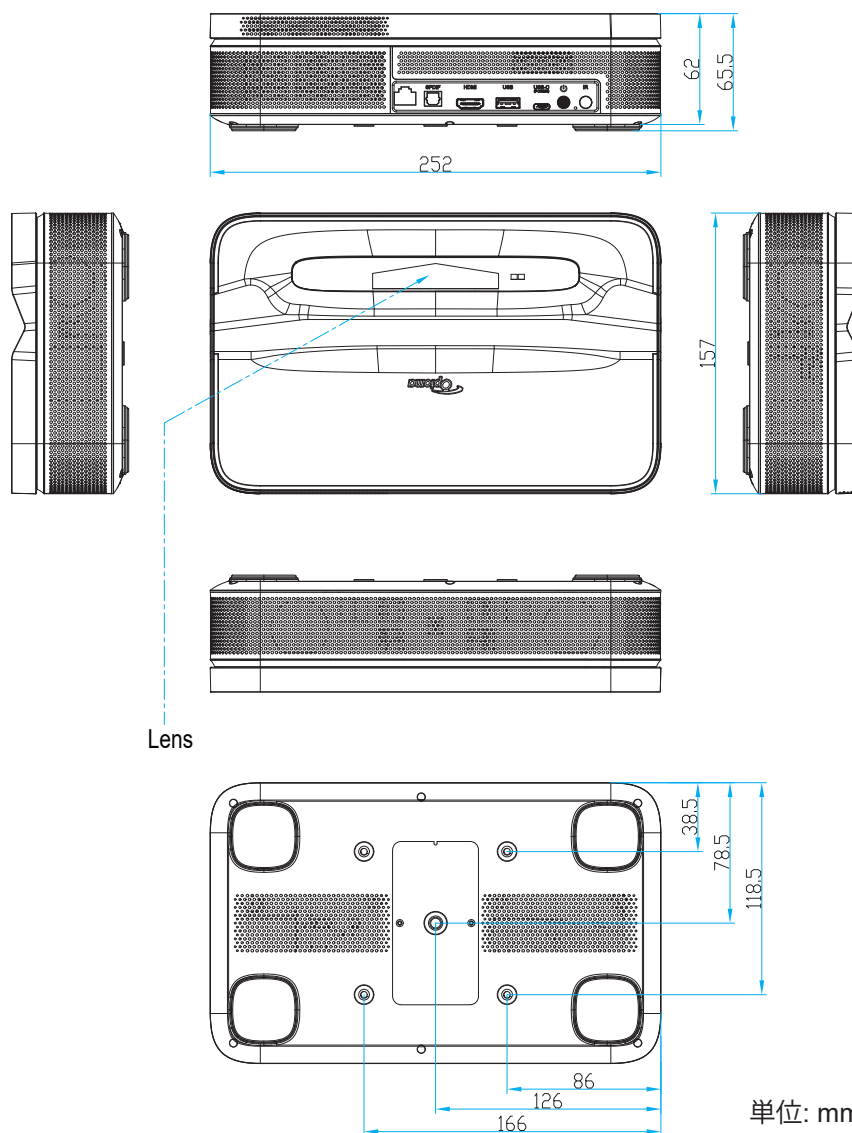
プロジェクターの寸法と天井取り付け

天井ネジソケット:

- M5*5mm を使用して固定します

PTZ ブラケットソケット:

- 5mm 英国製 1/4-20*1/4 ネジを使用して固定します。



単位: mm

注: プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 15 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモコンコード



キー		IR コード	使用ページ	使用 ID	説明
電源		0x0A	0x0C	0x0030	押すと電源がオンになり、スタンバイモードに切り替わります。
入力ソース		0x08	0x07	0x0041	押して入力信号を選択します。
Google アシスタント		0x74	0x0C	0x0221	話している間、ボタンを押し続けます。
ユーザープロフィール		0x59	0x0C	0x019C	押すとプロフィールページが表示されます。
設定		0x61	0x07	0x006E	押すと設定ダッシュボードにアクセスします。
OK	OK	0x1F	0x0C	0x0041	押して選択を確認します。
上		0x00	0x0C	0x0042	ボタンを使用して項目を選択したり、選択内容に応じて調整したりします。
下		0x01	0x0C	0x0043	
右		0x02	0x0C	0x0045	
左		0x03	0x0C	0x0044	
戻る		0x1C	0x0C	0x0224	押すと前ページに戻ります。
ホーム		0x0C	0x0C	0x0223	押すとホーム画面に戻ります。
ライブガイド (テレビ)		0x1E	0x0C	0x008D	押すとライブガイドページに入ります。
フォーカス +		0x42	0x07	0x006C	押してフォーカスを調整します。
フォーカス -		0x43	0x07	0x006D	

追加情報

キー		IR コード	使用ページ	使用 ID	説明
ミュート		0x0D	0x0C	0x00E2	を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
音量 +		0x58	0x0C	0x00E9	押して、音量レベルを調整します。
音量 -		0x5D	0x0C	0x00EA	
YouTube		0x4D	0x0C	0x0007	押すとビデオストリーミングアプリが起動します。
NetFlix		0x4E	0x0C	0x0008	押すとビデオストリーミングアプリが起動します。
Prime Video		0x2E	0x07	0x003E	押すとビデオストリーミングアプリが起動します。
プロジェクター設定 (ショートカット)		0x38	0x07	0x003F	押すとプロジェクター設定のショートカットメニューにアクセスできます。

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。問題が解決しない場合は、カスタマーサポートまたは地域のサービスセンターにお問い合わせください。

オーディオ出力がありません

- プロジェクターがミュートモードになっているかどうかを確認してください。その場合は、リモコンの  ボタンをもう一度押してプロジェクターのミュートを解除してください。
- モバイル デバイスが Bluetooth 経由でプロジェクターと正常にペアリングされているかどうかを確認してください。詳細については、28 ページを参照してください。

画像出力がありません

- プロジェクターの背面にある  ボタンを押してください。プロジェクターが正常に投影モードに入ると、電源インジケータライトが点灯します。
- 電源アダプターに指定された電力出力があることを確認してください。

ネットワークがありません

- **[ネットワークとインターネット]** オプションでインターネット接続の状態を確認してください。詳細については、25 ページを参照してください。
- ネットワーク ケーブルがプロジェクターの RJ-45 コネクタに正しく挿入されていることを確認してください。
- ルーターが正しく構成されていることを確認してください。

画像がぼやけています

- プロジェクターのフォーカスまたはキーストーン補正を調整してください。
- 投影距離がプロジェクターの有効焦点範囲内であることを確認してください。詳細については、54 ページを参照してください。
- ブロワーまたは柔らかい毛のブラシを使用して、レンズのほこりや汚れを取り除いてください。

画像が長方形ではありません

- キーストーン補正機能を使用しない場合は、プロジェクターをスクリーン/壁に対して垂直に配置してください。
- キーストーン補正機能を使用して画像の形状を調整してください。詳細については、27 ページを参照してください。

自動キーストーン補正が失敗しました

- プロジェクターの前面ガラスカバーの TOF モジュールがブロックされたり汚れたりしていないことを確認してください。
- プロジェクターを投影面に対して垂直になるまで移動して、もう一度試してください。

自動フォーカスが失敗しました

- プロジェクターの前面ガラスカバーの TOF モジュールがブロックされたり汚れたりしていないことを確認してください。
- プロジェクターが推奨投影距離になるまで、プロジェクターを前後に動かしてください。詳細については、54 ページを参照してください。

追加情報

❓ リモコンが反応しません

- 電池が正しく取り付けられており、消耗していないことを確認してください。
- プロジェクターとリモコンの間にある障害物を取り除いてください。
- リモコンが Bluetooth 経由でプロジェクターと正常にペアリングされていることを確認してください。
- ボタンが押されたり動かなくなったりしていないことを確認し、電源インジケーターがまだ点灯しているかどうかを確認してください。はいの場合は、カスタマーサポートまたは地域のサービスセンターにお問い合わせください。

❓ Bluetooth デバイスを接続する

- リモコンの  ボタンを押して、 を選択し、**[すべての設定]** メニューに入ります。**[リモコンとアクセサリ]** オプションを開いて、Bluetooth デバイスのリストを確認します。次に、**[アクセサリをペアリング]** を選択して、他の Bluetooth デバイスとペアリングします。

❓ プロジェクターの電源をオンにできません

- 内部バッテリーが切れるとプロジェクターは保護モードになります。この場合は、プロジェクターが電源に接続されていることを確認してから、プロジェクターの  ボタンまたはリモコンの  ボタンを 3 秒間押し続けてプロジェクターの電源を入れます。それ以外の場合は、カスタマーサポートまたは地域のサービスセンターにお問い合わせください。

❓ その他

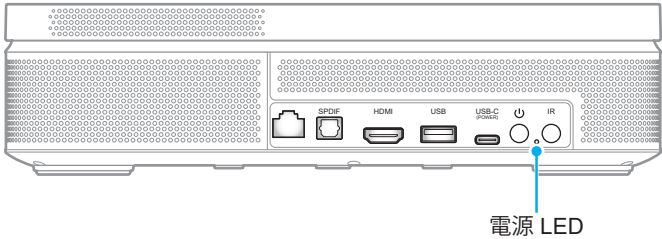
- お気軽にお問い合わせください。

追加情報

警告インジケーター

一般的な問題については、「トラブルシューティング」セクションを参照してください。問題が解決しない場合は、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

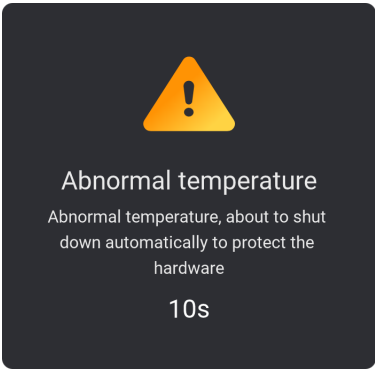
電源 LED インジケーターガイド



LED ステータス	オン	オフ
説明	電源オン (バッテリーモード): - 投影中 (青) - バッテリー残量低下 (赤)	電源オフ/スタンバイ
	電源オン (アダプターを差し込む): - 投影中//バッテリー充電中 (赤) - 投影中//バッテリー完全充電済み (緑)	
	電源オフ: - バッテリー充電中 (赤) - バッテリー完全充電済み (緑)	

警告メッセージ

- プロジェクターが過熱しています



追加情報

仕様

項目	説明
技術	Texas Instrument DMD、0.23 インチ 1080p DMD
出力解像度	1080p フル HD (1920 x 1080)
最大入力解像度	最大 3840 x 2160 @60Hz のグラフィック (HDMI ポート) 4K HDR 入力 は 外部 HDMI ソース でサポート されます。プロジェクターはコンテンツを 1080p HDR で表示 します。
レンズ	- スロー比: 0.18 - F-停止: 2.1 - 焦点距離: 0.9143 mm
オフセット	135% ±5%
画像サイズ	60 インチ～ 100 インチ
投影距離	26cm ～ 40cm (10.2インチ～ 15.9インチ)
レンズ	- HDMI 2.0 x1 - USB A x1 (5V/1A) - S/PDIF - LAN - USB C x1 (電源入力)
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	- 水平走査速度15kHz ～ 135kHz - 垂直走査速度: 24 ～ 60Hz (1080P の場合 60Hz)
スピーカー	10W x2 (最大出力 7W)
消費電力	110V (標準 W、BTU): 85W ±10%(注: 充電を含む)、BTU/時 1 ±5% 60W ±15%(注: 充電を含む)、BTU/時 1.5 ±5% 220V (標準、BTU): 85W ±10%(注: 充電を含む)、BTU/時 1 ±5% 60W ±15%(注: 充電を含む)、BTU/時 1.5 ±5%
電力要件	AC 100~240V ±10%、50/60Hz
入力電力	20V 5A
取り付け方向	フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	252 x 157 x 62 mm (99.21 x 61.81 x 24.41 インチ)
重さ	1.72 kg (3.79 ポンド)
環境	0° ～ 40°C、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

中南米およびメキシコ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

ヨーロッパ

1 Bourne End Mills
Hemel Hempstead
Hertfordshire
HP1 2UJ

United Kingdom
www.optoma.eu

サービスダイヤル: +44 (0)1923 691865  +44 (0) 1923 691 800

 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

Benelux BV

Optoma Benelux BV
Europalaan 770 D
1363BM Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 8200 250
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of.1C 28529
Rivas VaciaMadrid, Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Deutschland

 +49 (0) 2161 68643 0
 +49 (0) 2161 68643 99
 info@optoma.de

スキャンディナビア

Postboks 9515 Askollen
Kriveveien 29
Drammen
3036
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

